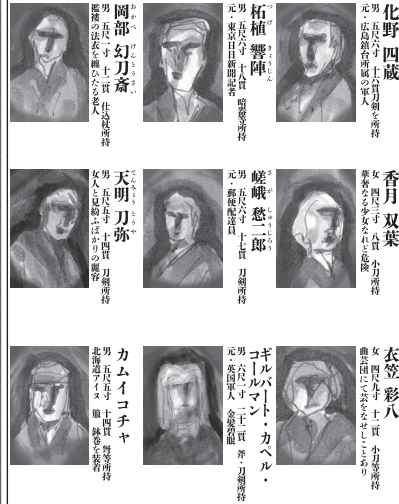


豊國新聞

悪逆非道ノ徒

本年六月六日、正午。東京府内ニ入り来タルノ報アリ。凡ソ此ノ者、其居所ヲ知リ、警察ニ報知セシ者ニハ金百円ヲ更ニ其者、其場所ヲ捕縛シ、警察ニ引渡セシ者ニハ金壹万円ヲ後日与フ。

ス徘徊ヲ都下ノ、漢不逞ノ所持凶器、公開ニ写真及顔名指名男女九名



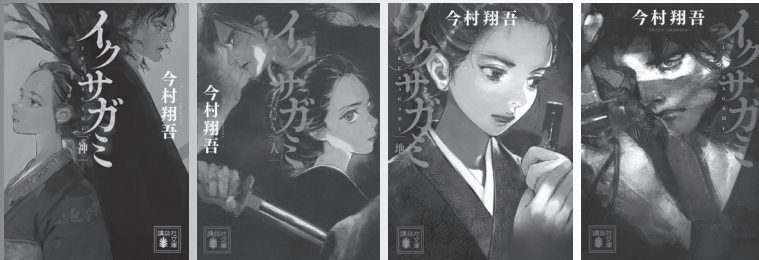
東海道を駆け抜けた明治死亡遊戯！
長き旅路の全てを見届けよ！

今村翔吾

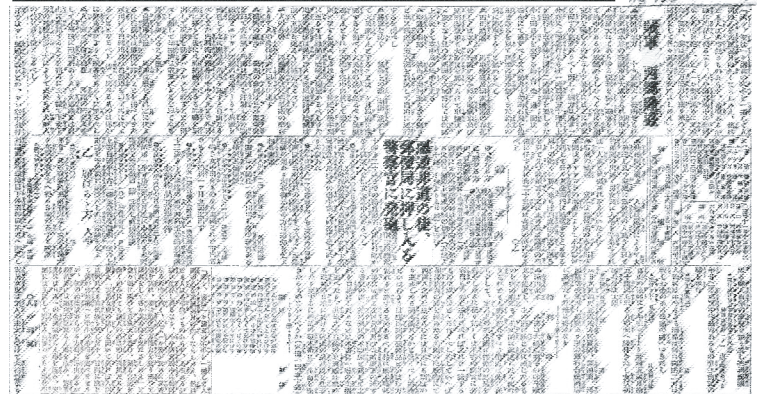
イクサガミ 決戦ノ書

講談社文庫

イクサガミシリーズ天地人の『重大なネタバレ』有り。未読の方は、取扱注意！



装画／石田スイ



明治デスゲーム最終決戦！ 舞台は首都東京！ 九人を追うは 全東京府民 八十七万人！

台東区 上野
(寛永寺黒門前)

牛込区 市ヶ谷
(陸軍士官学校)

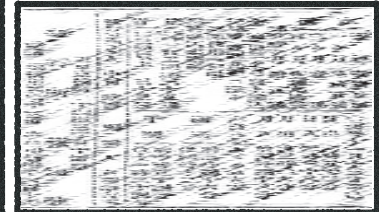


二百九十二名から、わずか九名へ！
東海道での死闘を辛くも潜り抜け、
降り立った地、首都東京。
期限まで、束の間の休息を経て、
始まる新たなる死闘の予感。

街をゆく全ての人々が敵となる。
十二時間後のタイムリミット、
寛永寺黒門前に辿り着け！

最後に大金を手にする者は、居るのか？

豊國新聞



悪逆非道ノ徒。

本年六月六日、正午。東京府内ニ入り来タルノ報アリ。
凡ソ此ノ者ノ居所ヲ知り、警察ニ報知セシ者ニハ金百円ヲ。
但シ、其者、其場ニ留マリシ場合ニ限ル。
更ニ万一、自ラ此ノ者ヲ捕縛シ、警察ニ引渡セシ者ニハ
金壹万円ヲ後日与フ。

凶器所持ノ不逞漢、府下ヲ徘徊ス 男女九名指名顔写真及び特徴を公開

あだしの しくら
化野 四蔵

男 五尺六寸 十一貫 刀剣所持
元・広島鎮台所屬の軍人



かつき ふたば
香月 双葉

女 四尺三寸 八貫 小刀所持
華奢なる少女なれど危険



きぬがさいろは
衣笠 彩八

女 四尺九寸 十二貫 小刀等所持
曲芸団にて芸をなせしことあり



つげ きょうじん
柘植 響陣

男 五尺六寸 十八貫 暗黒黨所持
元・東京日日新聞記者



さが しゅうじろう
嵯峨 愁二郎

男 五尺六寸 十七貫 刀剣所持
元・郵便配達員



ギルバート・カペル
コルバート・カペル

男 六尺一寸 二十二貫 斧・刀剣所持
元・英國軍人 金髪碧眼



おかべ げんとうさい
岡部 幻刀斎

男 五尺一寸 十二貫 仕込杖所持
襦袢の法衣を纏ひたる老人



てんみょうとうや
天明 刀弥

男 五尺五寸 十四貫 刀剣所持
女人と見紛ふばかりの麗容



カムイコチャ
カムイコチャ

男 五尺五寸 十四貫 簪等所持
北海道アイヌ 簪 鉢巻を装着



今村翔吾
明
治
死
亡
遊
戯
蠱
毒
双
六

その命を賭けて走り抜け！生き残り大金を手にする者は誰なのか？

ふりだし
五月五日

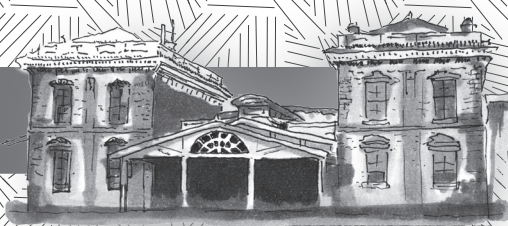
武技ニ優レタル者。
本年五月五日、午前零時。
京都天龍寺境内ニ参集セヨ。
金十万円ヲ得ル機会ヲ与フ。

旧時代に
置き去られたはずの
奏てが響き渡る。

遠江国浜松

舞坂
新居

『さつきまで
戦っていたのに。変なの』



東京

麹町

兜町

見付

袋井

掛川

日坂

金谷

何処の誰かも知れない者の、
如何なる過去を
背負っているかも
判らない者の命を奪う。

「え……？」
と、巡査が首を捻る。
それが合図となって
光景が爆ぜた。

駿河国島田

大津

京都天龍寺

『来てください。
嵯峨刻舟は死にません。』

草津
石部

瞬間、愁二郎の腰間から
刀が放たれ、
矢を真つ二つに叩き斬った。

水口
土山

曲がりくねった坂道自体が、
果てない地獄への路
かのように映った。

伊勢国関

坂下
亀山
庄野

蠱毒
——こどく——
蛇、蛙、百足、蛾、虱など
百の虫を一つの壺に入れ、
放置して其食いをさせる。
最後に勝ち残ったものが
神気を帯びるとされ、
これを祀れば
思い通りの富貴を
得られるとも、
どんな壮健な者でも殺める
毒を作れるともいう。

傘
万
円

六月六日

上野寛永寺
黒門

『おはんは、たいぎや凄かど』

最初は東側から。
直刀で首を掻き斬り、
同時に西側の男の
頸を蹴って粉碎。

新富座はどうなった。
芝の辺りにも凶賊が
出没したというぞ。

「させるか」
刀が光芒を放つのも重なった。
互いの居合いが
宙でぶつかり火花を散らす。

「ああ……
打ってしまった……」

「黒札は通常の札とは
まったく別のもの」

脇に刀が突き刺さる音が
何度も耳朶に響く。

三河国池鯉鮒

五月十日、午前二時。
戦入塚にて、
京の八頭の竜を待つ。
禄存より。

相模国箱根

鳴海

三島

沼津

原

宮

四日市

石薬師